

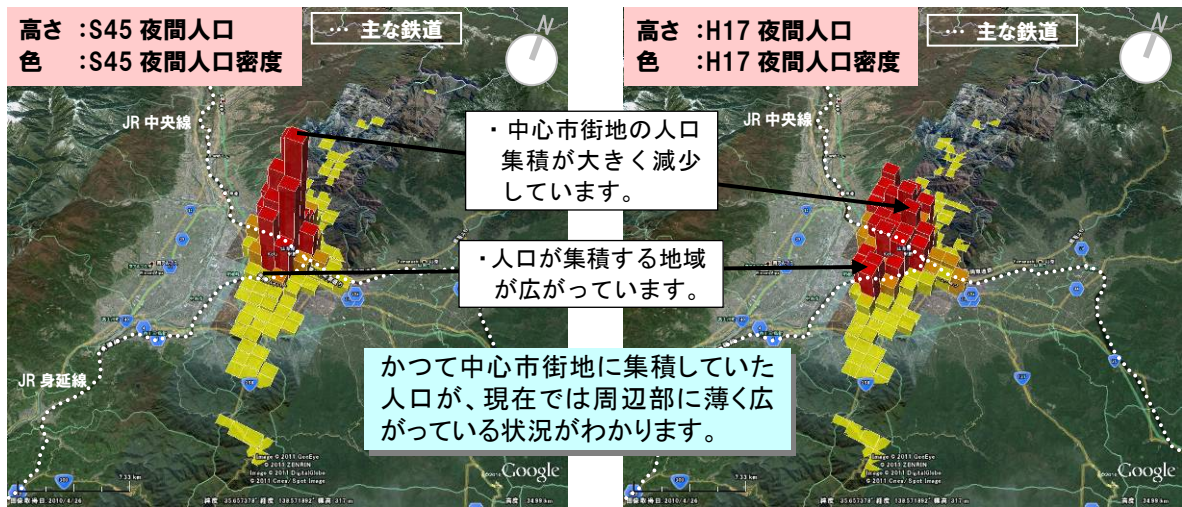
# 都市構造を可視化してみませんか？

都市構造の可視化とは、人口や事業所、販売額をはじめとする統計データやその他の様々なデータを、地図上で高さや色を使って三次元で表現するものです。これにより、都市構造の現状や課題を視覚的・直感的に把握することができます。

## 【メリット】

- ① GIS ソフトを導入することなく、統計データに基づく即地的な都市構造の分析ができます (Google Earth を活用)。
- ② 取り扱うデータは、国勢調査や事業所・企業統計などの統計データに加え、土地利用規制や公共交通利用圏のような位置の属性に関するものなど、多様なデータを地域メッシュに基準化することで表示することができます。
- ③ 統計データは三次元で表示が可能のため、高さや色で表示項目を使い分けることにより、視覚的に都市構造を表現することができます。

## 特徴1. 人口集積などを、経年的に比較することができます



### 凡例

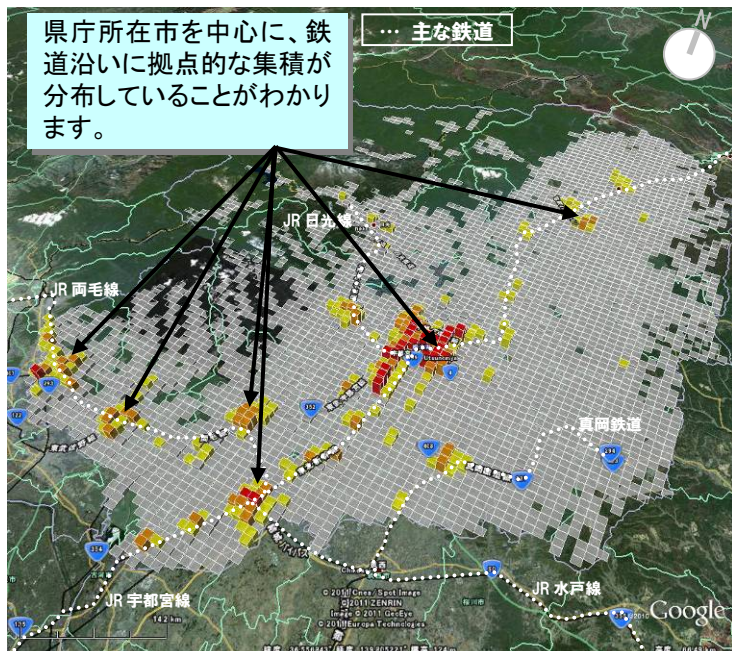
メッシュサイズ	1km × 1km	出典	高さ :S45, H17 国勢調査 (総務省)
高さ	夜間人口		色 :S45, H17 国勢調査 (総務省)
色	夜間人口密度	下絵の凡例	— 鉄道
	■ 4,000 人/k m <sup>2</sup> ~		— 道路
	■ 2,000~4,000 人/k m <sup>2</sup>		— 高速道路
	■ 0~2,000 人/k m <sup>2</sup>		

## 特徴2. 自市だけでなく、広域に表示することができます

高さ :H17 夜間人口  
色 :H17 夜間人口密度

### 凡例

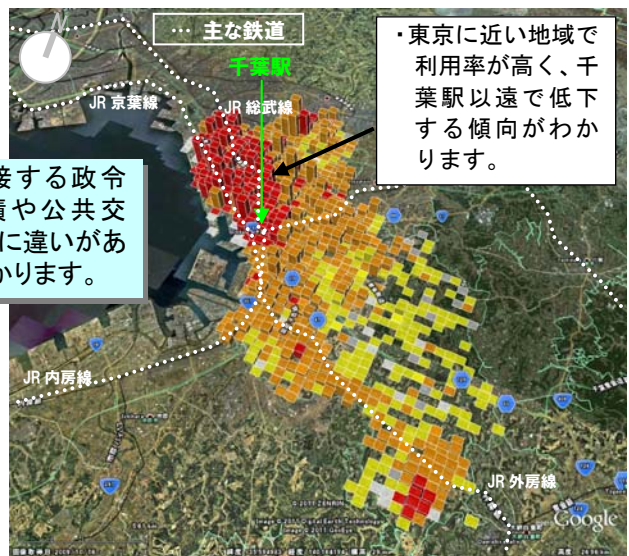
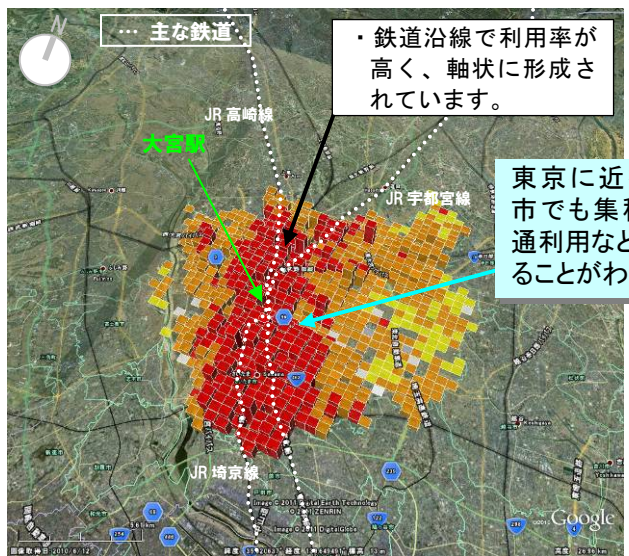
メッシュサイズ	1km × 1km
高さ	夜間人口
色	夜間人口密度
	■ 6,000 人/k m <sup>2</sup> ~
	■ 4,000~6,000 人/k m <sup>2</sup>
	■ 2,000~4,000 人/k m <sup>2</sup>
	■ 0~2,000 人/k m <sup>2</sup>
出典	高さ :H17 国勢調査 (総務省) 色 :H17 国勢調査 (総務省)
下絵の凡例	— 鉄道
	— 道路
	— 高速道路



### 特徴3. 近隣都市をはじめ、任意に選んだ都市と比較することができます

高さ : H12 夜間人口  
色 : H12 通勤通学時公共交通等利用率

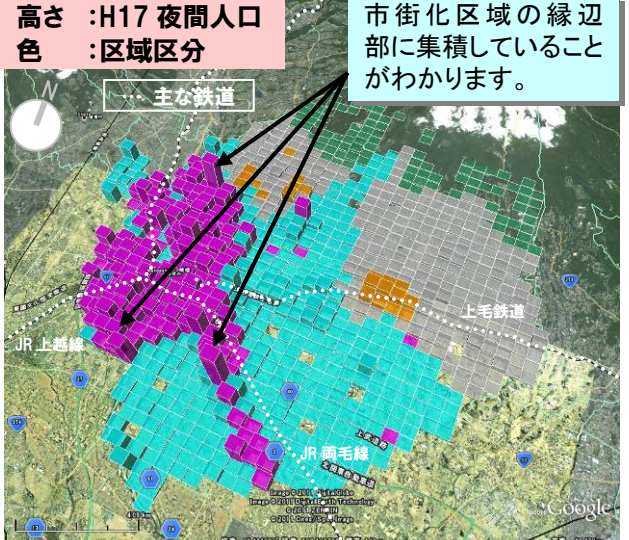
※通勤通学時公共交通等利用率 =  $\frac{\text{鉄道利用} + \text{バス利用} + \text{自転車利用} + \text{徒歩}}{\text{通勤通学総数}}$



凡例

メッシュサイズ	500m × 500m	出典	高さ: H12 国勢調査(総務省) 色: H12 国勢調査(総務省)
高さ	夜間人口	下絵の凡例	— 鉄道 — 道路 — 高速道路
色	通勤通学時公共交通等利用率		
	■ 75~100% ■ 50~75% ■ 25~50% ■ 0~25%		

### 特徴4. 統計データだけでなく様々なデータのクロス表示ができます



凡例

メッシュサイズ	500m × 500m
高さ	夜間人口
色	区域区分
	■ 市街化区域 ■ 市街化調整区域 ■ 非線引き用途地域 ■ 非線引き白地地域 ■ 都市計画区域外
出典	高さ: H17 国勢調査(総務省) 色: 国土数値情報 都市地域データ(国土交通省)
下絵の凡例	— 鉄道 — 道路 — 高速道路

凡例

メッシュサイズ	500m × 500m
高さ	夜間人口
色	公共交通利用圏
	■ 駅・バス利用圏 ■ 駅利用圏 ■ バス利用圏 ■ 駅・バス利用圏外
出典	高さ: H17 国勢調査(総務省) 色: プロトラス全施設データ(アルプス社)
下絵の凡例	— 鉄道 — 道路 — 高速道路